平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	01	01
細事業名	敬老祝い事業					

担当部局	担当課等	担当課長の氏名	担当者の氏名
健康長寿福祉部	長寿福祉課	大久保　亨	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	満75歳以上(敬老会開催年度の末日時点)の高齢者を対象に、市の発展に貢献された高齢者に対し長寿と健康を祝うため敬老会を各地域で開催し、老人福祉の向上を図る。 内容：式典、アトラクション、記念品（喜寿、米寿、100歳以上）
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	対象者に対し、約50%の参加率を目標とする。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	高齢者に対する敬老事業として75歳以上の高齢者を対象に地区単位で敬老会を開催し、会食や演芸、アトラクションなどで楽しんでいただいた。また、喜寿、米寿並びに100歳以上の方へ祝い品をお渡ししお祝いした。また、市内在住の最高齢者を市長が訪問し、記念品をお渡しし、お祝いした。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	高齢者の生きがいと社会参加の一助となり、多世代の交流を行うことができた。 市民の敬老意識の高揚と高齢者の社会参加に寄与するものと思える。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	8	2,888	国庫支出金		
	19	23,887	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		26,775
事業費合計		26,775	合計		26,775

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	地域ぐるみでの取り組みが行われるようになり，参加した方にも好評であった。国においても敬老の日・老人週間を定め、高齢者との関わりを深め、様々な取り組みを進めることを提唱している。また、敬老会への参加は自立・社会参加に繋がる。
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
▲	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	補助金額（2，250円／人）及び記念品については、社会経済情勢や他市町の状況を考慮しながら適正額を考える。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	高齢者の長寿を祝う事業で喜びの意見が寄せられている。毎年敬老会に参加することは、自身の健康と喜びを感じる機会となっており、高齢者同士の交流の場ともなっている。社会参加に繋げることが期待できる。
事業規模の方向性			
C	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	長寿を祝い高齢者を敬愛するには継続させるべきであるが、高齢社会の進展に伴い財政上の負担が過大となることから，内容を検討する必要がある。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	03	01
細事業名	老人クラブ活動充実事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	老人福祉法第13条には、老人クラブ事業を行うものに対して適当な援助をするよう努めなければならないと定められている。その趣旨に従い、老人クラブが行う老人の健康保持に資する事業等に補助することにより、高齢者福祉の推進を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	京丹後市老人クラブ連合会が行う事業等の実施を円滑にし、老人クラブの育成と老人クラブ会員の生活を豊かなものにする。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市老人クラブ連合会の運営及び活動に要する経費の一部について補助金を交付し、老人クラブ活動の円滑な実施に寄与した。（平成21年度・単位クラブ130、クラブ員4,311人）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	老人クラブは、地域での社会奉仕、各クラブ活動、市の行事への参加など幅広い活動を展開しており、老人クラブ活動の推進により、高齢者の生きがいづくりと地域の活性化を図ることができた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	9,692		国庫支出金		
				府支出金	老人ｸﾗﾌﾞ助成事業費補助金	5,282
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		4,410
事業費合計		9,692		合計		9,692

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	国、府、市が法令に基づき補助。市老連の会員数は減少傾向にあるが、連携を密にして高齢者の生きがいづくりと地域の活性化のため取り組んでいる。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	老人福祉法により、市は高齢者福祉の増進を目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブ事業を行う者に対し、援助をするように努めなければならないとされている。補助単価は、国の要綱による。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	高齢者の社会参画と生きがいづくり等を目的として引き続き支援する。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	会員数は年々減少傾向にあり、老人クラブの自助努力以外にも、充実強化について支援をしていく必要がある。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	06	01
細事業名	軽度生活支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	担当課長の氏名
長寿福祉課	大久保　亨
	担当者の氏名
	増田　裕貴

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	おおむね65歳以上の高齢者で、ひとり暮らし世帯、高齢者のみ世帯等に属していて、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	一人暮らし高齢者世帯等が増加している現状の中で、日常生活に不安がある 高齢者を支援することで、高齢者が在宅で安心して生活することができる。 ※　目標値設定はそぐわない。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	軽易な日常生活の援助が必要な、おおむね65歳以上の高齢者世帯等に軽度生活援助（ホームヘルパー派遣）を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を 可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することができた。 利用者実人員　39名

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	1,146		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,146
事業費合計		1,146		合計		1,146

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	※　進捗目標値の設定にはそぐわない。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	※　コスト削減の設定にはそぐわない。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	B　A　現状維持 B　B　内容の見直し B　C　統廃合・休止・終了	理由	利用者負担金及び事業者への委託料の検討
	事業規模の方向性		
	B　A　事業拡大 B　B　現状維持 B　C　事業縮小	理由	特になし

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	07	01
細事業名	生活管理指導事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	担当者の氏名
長寿福祉課	大久保　亨
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	要介護（要支援）状態ではないが、社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等に短期間入所させ、宿泊を通じて日常生活の指導及び支援をすることにより、自立した生活の助長を図ることを目的とする。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	ひとり暮らし高齢者等が体調不良な状態に陥った場合等の不安を軽減し、居宅で安心して暮らせるようにする。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	介護保険の対象にならない高齢者を対象に、養護老人ホーム等に短期間入所させ、生活習慣の指導を行い体調調整を図った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	平成21年度　利用者　5名　（延べ239日）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	615		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		615
事業費合計		615	合計			615

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	必要に応じサービスを利用するものであるため、具体的効果、数値効果を測ることが難しいが、所定の目標は達成できた。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	今後高齢化が更に進展するため、必要不可欠であり妥当なコストである。削減の余地はない。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	今後更なる高齢者数の増加、若者の流出、核家族化の進行等が予想される中、概ね65歳以上の介護保険対象にならない者が、様々な理由により、一時的に在宅生活困難な場合の最期の選択肢として必要である。現状維持。
	事業規模の方向性			
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	事業実施の効果はあり、現状どおりで特に見直しは必要としない。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	08	01
細事業名	生きがい活動支援通所事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	増田　裕貴

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	家に閉じこもりがちな在宅の概ね65歳以上の高齢者に対して、高齢者が生きがいを持って自立した生活を送るとともに、心身の機能の維持向上を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	高齢者が生きがいを持って自立した生活を送るとともに、心身の機能の維持向上を ※　目標値設定はそぐわない。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	家に閉じこもりがちな在宅の概ね65歳以上の高齢者に対して、高齢者が生きがいを持って自立した生活が送れるようデイサービスの利用を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	高齢者が生きがいを持って自立した生活を送るとともに、要介護状態への進行を防止することができた。 年間利用回数　7，553回　実利用者数　186人

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	24,537		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		24,537
事業費合計		24,537	合計			24,537

CHECK

評価			
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	※　進捗目標値の設定にはそぐわない。
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	※　コスト削減の設定にはそぐわない。

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	市内の事業者（9箇所）の委託料が旧町のままであり、今後も見直しが必要である
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	21年度の『市の仕事「満足度」調査』においても、事業の必要性は高く、引続き継続するもの

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般	03	01	03	09	01
細事業名	生きがい健康づくり事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	一般高齢者や家に閉じこもりがちな1人暮しの高齢者等を対象に講演会や各種趣味の講座を開催し、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、外出機会を提供することにより社会的孤立感の解消と自立生活を支援し、要介護状態に陥ることを予防する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、外出機会を提供することにより社会的孤立感の解消と自立生活を支援し、要介護状態に陥ることを予防する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	一般高齢者や家に閉じこもりがちな1人暮しの高齢者等を対象に講演会や各種趣味の講座を開催し、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、外出機会を提供することにより社会的孤立感の解消と自立生活を支援し、要介護状態に陥ることを予防する。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進し、家に閉じこもりがちな一人暮らし高齢者等の外出機会を提供することにより孤立感の解消等が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	196		国庫支出金		
	9	3		府支出金		
	11	193		起債		
	12	19		分担金・負担金		
	13	1,037		その他		
	14	125				
				一般財源		1,573
事業費合計		1,573		合計		1,573

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	具体的効果、数値効果を測ることが難しいところであるが、設定した成果指標は概ね達成できたと考える	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	今後、高齢化が進み、高齢者の生きがい、健康づくりがさらに重要となってくる。生きがい健康づくり事業への支援は、現時点において必要不可欠であり妥当なコストであると考える。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	公民館活動として同様な事業が行われているため、調整が必要。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	高齢者の生きがいづくり関わる事業であり、高齢化が進んでも、健康で生きがいのある生活を送るために現状維持が適当である。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	10	01
細事業名	老人日常生活用具給付等事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	要援護老人及びひとり暮らし老人等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付又は貸与することにより、要援護老人等の日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的とする。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	要援護老人及びひとり暮らし老人等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付又は貸与した。《平成21年度実績　火災警報器給付2件、老人電話休止手数料1件）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	12	2		国庫支出金		
	20	29		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		31
事業費合計		31		合計		31

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている）	理由	必要に応じ給付するものであるため、具体的効果、数値効果を測ることは難しいが、目的達成に向けて順調に進捗している。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	対象者の収入に応じて負担額を設定しており、対象者の状態に応じた公平な給付ができていると考える。コスト削減の余地はない。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

B	A　現状維持	理由	高齢化が進む中で、ひとり暮らしでも、住み慣れた地域で安心して過ごすことができる事業の展開が期待されている。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

A	A　事業拡大	理由	ひとり暮らし老人等の生活を支える一手段として、継続する。老人福祉電話基本料金助成金事業の統合により、事業拡大。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	10	02
細事業名	老人福祉電話基本料金助成金					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	老人福祉電話の電話料の一部を助成することにより、当該電話の設置を容易にし、福祉の向上に役立てる。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	概ね65歳以上の低所得者で、市の所有する老人福祉のための電話回線貸与を受けた者を対象に、電話料の一部を助成した。《平成21年度実績：　実人数12人　１人あたり18,264円　（7月・1名減）》
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	20	205		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		205
事業費合計		205		合計		205

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	必要に応じ助成するものであるため、具体的効果、数値効果を測ることが難しいが、効果的であると考える。目的達成に向けて順調に進捗した。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	基本料金のみの助成であり、ひとり暮らし老人等の負担軽減のための経費である。コスト削減の余地なし。

ACTION

改善

事業内容の方向性

B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	老人日常生活用具で貸与される老人電話に係る電話料助成のため、事業整理。

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	低所得者対策として現状維持。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	13	01
細事業名	網野高齢者すこやかセンター施設管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	在宅の高齢者に対して生きがい、健康の保持及びレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	在宅の高齢者が、健康で心豊かに生きがいを持って生活できるよう、健康増進や要介護状態にならないよう予防の活動拠点の場を提供した（貸し部屋、入浴施設）。社会福祉協議会に業務委託。《平成21年度実績：施設利用者（入浴設備利用者、入浴以外施設利用者）　15,339名　3,132,800円》
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	5,190		国庫支出金		
	12	168		府支出金		
	13	4,343		起債		
	14	229		分担金・負担金		
				その他	使用料	3,154
					雑入	2
				一般財源		6,774
事業費合計		9,930	合計			9,930

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	利用者は増加傾向にある。《平成20年度実績：施設利用者（入浴設備利用者、入浴以外施設利用者）13,991人　2,748,600円》

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	事業を非営利の社会福祉協議会に委託しており、これ以上の削減は無理と考えられる。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	レクリエーション機会や憩い集う機会について、公民館等他の機関、組織と連携強化し、在宅の支援を進める必要がある。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	利用者の固定化がみられ、利用拡大のPR等が必要であるが、施設規模の制約もあるため、現状維持が適当である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	16	01
細事業名	福祉施設等指定管理運営事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	大久保　亨
担当課等	**担当者の氏名**
長寿福祉課	野田　昭男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	多様化するニーズをより効果的、かつ、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力の活用を図り、集客力や市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的としている。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	対象施設 丹後老人福祉センター松風苑、弥栄生きがい交流センター、網野社会参加交流ハウス、浜詰ふれあいセンター、佐濃デイサービスセンター 老人福祉施設等の運営管理 ・施設予約受付 ・施設貸出及び使用料徴収 ・施設の点検及び維持管理
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	利用人員前年度比較 浜詰ふれあいセンター　16%増、佐濃デイサービス　14%増、弥栄いきがい　15%増 網野交流ハウス　0．2%増、松風苑　8．5%減（鍼灸事業の利用者減による）

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	12	129	国庫支出金		
	13	10,569	府支出金		
	14	80	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		10,778
事業費合計		10,778	合計		10,778

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	公の施設の管理運営は、その設置目的を最大限に達成し、かつ効果・効率的な運営が求められている。こうした中、本市では平成18年度から指定管理者制度が導入されており、制度適用の拡大と公平・公正な指定管理者の選定が求められている。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
▲	○　削減の余地がなかった	理由	市有施設の管理は適切になされているが、自主事業について収益性の向上、費用の節減等を図る必要がある。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
B	A　現状維持	理由	指定管理者選定委員会の意見等を受けながら、指定管理者制度を適用すべき施設の選定、指定管理者の選定・指定、公正な業務評価を行い、適切な制度運用に努め、公の施設における市民サービスの向上と経費の節減を図る。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	市民は、公の施設の管理運営について、市民ニーズへの的確な対応や効果・効率的で柔軟な施設運営を求めている。こうした中、指定管理者制度の導入により、施設の設置目的の最大化が期待できる施設には、積極的に適用を図っていくこととする。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	02	02	01
細事業名	健康長寿のさとづくり推進事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	野田　昭男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	健康長寿のまちづくりに関する先進地の実践例についてともに学び、連携し、それぞれの地域において健康長寿のさとづくりの実現に資する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	今後、ますます多くの方が百歳を超える長寿を享受される社会の中にあっては、高齢者自身が老いや長寿の中にこそある「喜び」や「宝」を発見し、ともに喜び楽しみ合える社会環境を整備・醸成していく必要がある。　　健康長寿のさとづくり全国交流会の開催、推進市町村連絡協議会の設立を行い、市町村が連携と情報交換を行いながら豊かな高齢化社会、百歳長寿の地域づくり実現に向けた活動を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	568		国庫支出金		
	9	300		府支出金	推進事業費補助金	1,243
	11	723		起債		
	12	211		分担金・負担金		
	14	220		その他		
				一般財源		779
事業費合計		2,022		合計		2,022

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
▲	○　進捗している（できている）	理由	第2回健康長寿のさとづくり全国大会の開催、百歳バンザイ!!推進市町村連絡協議会の設立等、当初の目的を概ね達成できた。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
×	○　削減の余地がなかった	理由	今後の具体的施策の実施に伴い、削減の余地は無いものと考える。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
B	A　現状維持	理由	高齢化が進む中で、心身とも豊かで幸せな人生が送れるよう施策を考え、高齢者の生きがいと、健康づくりの意識を市民が深めていく必要がある。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
A	A　事業拡大	理由	生きがいづくり等、高齢者の積極的な社会活動のために、必要な施策を講ずることが重要である。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	05	01	01	01	01
細事業名	シルバー人材センター運営助成事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	1　生きがい活動・社会活動の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	定年退職後等の高年齢者に、地域に密着した仕事を提供し、高年齢者の雇用・就業の促進と生きがい・社会参加の促進を図るため、シルバー人材センター事業を助成する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付により、円滑な運営を支援した。 《平成21年度実績：会員数904人、受注件数4,946件、就業人数849人（実人数）、69,299人（延人数）、契約額　278,718千円》 市補助率7.3%
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	23,743		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		23,743
事業費合計		23,743		合計		23,743

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	不況下での高年齢者の就業機会確保のため、シルバー人材センター事業は有効であり、円滑な運営を支援するという目的は概ね達成できた。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	高齢化の進展などシルバー人材センターへのニーズが強まり、多様化することが予測されるため。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	高齢化の急速な進展、高齢者を巡る厳しい雇用失業情勢等を受け、高齢者の就業機会を確保することは益々重要となっている。

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	高齢者の就業機会を確保することは益々重要となり、シルバー人材センターへのニーズが高まり、多様化することが予測される。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	02	01
細事業名	老人保護措置事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	居宅での生活を継続していくことが困難な高齢者に対して、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉を図り、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	老人福祉法第11条第1項に基づき、概ね65歳以上の高齢者で居宅での生活を継続していくことが困難な者を、養護老人ホーム(市内1、市外4ケ所)に入所させ、入所に係る費用（生活費、事務費等）を市が支出した。入所者は、国の規定に基づき収入に応じて費用負担した。《H21年度実績・被措置者73名（退所10名、入所9名）》
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	16		国庫支出金		
	9	2		府支出金		
	11	2		起債		
	12	0		分担金・負担金	老人福祉施設措置費負担金	33,831
	20	156,252		その他		
				一般財源		122,441
事業費合計		156,272		合計		156,272

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	在宅での生活が困難な方について、地域包括支援センターと連携し実態把握に努め、必要な措置を講じた。また、入所者についても、年1回、入所者状況報告書を提出させ、実態把握に努め措置の継続をした。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	老人福祉法の措置基準に基づくものであり、削減の余地なし。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	老人福祉法に基づいて行う事業のため、事業内容は現状維持。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	老人福祉法に基づき、実態把握を行った上で必要な措置を講ずる。事業規模は現状維持。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	04	01
細事業名	福祉有償運送運営助成事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者及び障がい者に対し、移送サービス事業を支援することにより、通院等の外出を支援することを目的とする。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	述べ利用回数　14，500回　利用料収入　12，000千円　補助金　10，400千円

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市社会福祉協議会が福祉有償運送事業を実施するために必要な経費から、利用者から徴収した利用料等の収入を控除した額を助成した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	平成20年度　利用回数　13，755回　利用料収入　11，378千円　補助金　11，903千円 平成21年度　利用回数　14，035回　利用料収入　11，716千円　補助金　10，567千円

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	10,567		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		10,567
事業費合計		10,567	合計			10,567

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	対象者が65歳以上の高齢者又は身体障害者等であり、自力で公共交通機関を利用することが困難な方を対象としているため、移動を確保する手段として有効である。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	収益性の低い事業であり民間事業者の参入は考えにくい。事業の重要性から、補助金の削減は不可である。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	今後は、社会参加の場の充実や移動介護の利用希望により、新たな利用者の増加が見込まれるため、継続して実施する。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	山間地域、へき地を抱える市の地域性を考慮する中では現在の移送サービスの規模を基本とするが、利用者の増加によっては事業拡大の必要性がある。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	02	01	01	
細事業名	地域包括支援センター事業					

担当部局	担当課等	担当課長の氏名	担当者の氏名
健康長寿福祉部	長寿福祉課	大久保　亨	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域で暮らす高齢者を介護，福祉，保健，医療などさまざまな面から総合的に支援するために，予防事業支援，総合相談支援，虐待防止・権利擁護，地域のケアマネジャー支援や関係機関とのネットワークづくりなど地域ケアの中核拠点として地域包括支援センターを設置運営する事業。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域包括支援センターと介護支援センターによる事業展開。 ・介護予防ケアマネジメント業務（特定高齢者のケアマネジメント） ・総合相談支援業務　・権利擁護業務　・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 市内の6つの生活圏域に地域包括支援センターまたは分室を計6箇所、初期総合相談窓口として介護支援センター計5箇所委託により設置。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	・介護保険その他、保健福祉サービスに関すること　（4,023件） ・権利擁護（成年後見制度等）に関すること　（106件） ・高齢者虐待に関すること　（32件）　・ケアマネジメント業務（100件）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	2	45,001		国庫支出金	地域支援事業交付金	21,675
	3	30,779		府支出金	地域支援事業交付金	10,837
	4	14,393		起債		
	7	6,843		分担金・負担金		
	9	137		その他		
	11	637				
	12	85				
	13	9,235				
	14	444				
	18	3,713				
	19	40				
	27	9		一般財源		78,804
事業費合計		111,316		合計		111,316

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるため、地域包括支援センターを核とし、在宅介護支援センター等各種関係機関との連携を強化し、高齢者の総合相談や実態把握を行なうとともに、予防事業へのケアマネジメントを実施しました。また、地域ケア会議の開催や高齢者の虐待に対するネットワークの構築を行いました。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：高齢者人口の増加への対応や介護保険制度の維持，サービス給付の適正化を図るため事業を継続する必要はある。市の裁量を十分に生かしながら，他事業との調整や関係機関との連携を図り，事業の拡充や効率化を推進する。
	事業規模の方向性		
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：高齢者人口の増加への対応や介護保険制度の維持，サービス給付の適正化を図るため事業を継続する必要はある。市の裁量を十分に生かしながら，他事業との調整や関係機関との連携を図り，事業の拡充や効率化を推進する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	02	02	02	
細事業名	家族介護支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	在宅でおおむね65歳以上の高齢者を介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに心身の回復を支援し、在宅福祉の向上を図ることを目的とする。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入） 介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	在宅でおおむね65歳以上の高齢者を介護している家族等に対し、①家族介護教室事業、②家族介護交流事業、③介護用品支給事業、④家族介護慰労金事業を実施し、精神的・肉体的・経済的な負担軽減を図った。 ⑤認知症高齢者見守り事業・・・市の認知症対策として市域または介護保険事業所等と連携し、各種事業（認知症サポーター養成講座、徘徊捜索模擬訓練、交流会等）を実施し、認知症に対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、ボランティアの育成、本人や家族を支えるための仕組み作りの構築を推進した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	・家族介護教室・・・実施回数（9回）、参加延人数(113回)、参加実人数（82回） ・家族介護者交流事業・・・開催回数（11回）、参加延人数（229人）、参加実人数（209人） ・介護用品支給事業・・・支給件数（182件）　・家族介護慰労金・・・支給件数（2件） ・認知症高齢者見守り事業・・・認知症サポーター養成講座（77講座）、延受講者数（2,136人）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	127		国庫支出金	地域支援事業交付金	1,806
	9	9		府支出金	地域支援事業交付金	903
	11	368		起債		
	12	366		分担金・負担金		
	13	76		その他		
	14	608				
	20	7,719				
				一般財源		6,564
事業費合計		9,273		合計		9,273

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：在宅で介護されている家族は、精神的・肉体的・経済的にも負担が大きく、その軽減のため支援することが望まれているため、負担の軽減となるよう引続き支援し、介護予防の推進及び自立生活支援向上を図る。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：高齢者人口の増加に伴い，要介護高齢者の増加も見込まれることから，事業を継続する必要があるが、参加者拡大や参加負担金の導入等状況に応じ、検討の余地がある。
	事業規模の方向性		
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：高齢者の増加に伴ない、事業内容の検証が必要である。その結果によっては事業の拡大が必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-18

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	02	02	03	
細事業名	成年後見制度利用支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	判断能力の不十分な認知症高齢者等が、身寄りがなく費用負担が困難なことにより、成年後見制度が利用できない場合、本人に代わり市が裁判所に申し立て手続き行う。費用負担ができない場合は市で費用の一部を助成する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市町村申立に係る低所得の65歳以上の高齢者等に対し、成年後見制度申立てに有する費用の一部を助成し、支援を行なった。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	日常生活を安心で不便なく送ることができる。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	1		国庫支出金	地域支援事業交付金	1
	12	6		府支出金	地域支援事業交付金	1
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		5
事業費合計		7		合計		7

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：高齢者人口の増加に伴い，認知病等の判断能力が不十分なひとり暮らし高齢者も増えていることから，制度周知を徹底する。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：高齢化が進み、ますます高齢者が健康で生きがいを持ち自立した生活を営むことが必要になっている。今後は事業効果をみながら事業内容の検討が必要である。
	事業規模の方向性		
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：高齢者人口の増加に伴い，認知病等の判断能力が不十分なひとり暮らし高齢者も増えていることから，制度周知を徹底する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	02	02	04	
細事業名	福祉用具・住宅改修支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	住宅改修費の支給の対象となる住宅改修について十分な専門性があると認められる者が、住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合に補助金を交付する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	住宅改修費の支給の対象となる住宅改修について十分な専門性があると認められる者が、住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合に1件当り2,000円の補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	交付件数（3件）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	6		国庫支出金	地域支援事業交付金	1
				府支出金	地域支援事業交付金	1
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		4
事業費合計		6		合計		6

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている）	理由	事業所の申請に基づき交付するものであり、進捗できている。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	申請件数も少なく、また一件当たりの交付額も少額であり、コストについては妥当であったと判断できる。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	事業所への補助金は必要である
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

B	A　事業拡大	理由	申請件数があまりないので、現状維持
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	02	02	05	
細事業名	地域自立生活支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	担当課長の氏名
長寿福祉課	大久保　亨
	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	2　生活支援・在宅福祉対策の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	【①食の自立支援サービス事業】 食事の支度が困難なため日常生活に支障のある高齢者等に対し、定期的に栄養のバランスの取れた食事や、病態食、特別食などを配達するとともに、配達時に安否の確認を行う。 【②安心生活見守り事業】 ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯及びこれに準ずる世帯ならびに重度心身障害者等の住み慣れた地域における継続した生活を支援するため、緊急・相談通報装置を利用して、急病、事故等の緊急時における迅速かつ適切な対応、日常における相談に対する助言等を行う 。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	①食事の支度が困難なため日常生活に支障のある高齢者等に対し、定期的に栄養のバランスの取れた食事や、病態食、特別食などを配達するとともに、配達時に安否の確認を行い、必要に応じて地域包括支援センター等に報告を行った。 ②ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯及びこれに準ずる世帯ならびに重度心身障害者等高齢者等のいる世帯における家庭内の事故等による通報・相談に24時間365日専門知識を有するオペレータが対応するための体制を整備した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	①食の自立支援サービス事業・・・提供食数　(78,619食)
		②安心生活支援事業・・・総設置数(513件)、新規設置数(50件)、救急車出動回数(36回)

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額(千円)	財源内訳	項目	名称	金額(千円)
	11	3,137		国庫支出金	地域支援事業交付金	13,963
	12	285		府支出金	地域支援事業交付金	6,982
	13	68,147		起債		
	14	125		分担金・負担金		
	27	17		その他		
				一般財源		50,766
事業費合計		71,711		合計		71,711

CHECK

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○　進捗している(できている) ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている(できていない)	理由　利用者が増加傾向にあるため、今後にむけて再検討が必要である
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由　利用者の負担軽減のため

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由　①食の自立支援サービス事業は、利用料の見直しが検討されてきましたが、大規模の変更は見直しができず、今後も引続き検討が必要です
	事業規模の方向性		
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由　高齢者世帯の増加により、今後も拡大を検討する必要があります

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-21

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	01	01	01	
細事業名	特定高齢者把握事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	担当課長の氏名
長寿福祉課	大久保　亨
	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	4　介護予防の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	生活機能が低下し要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者を早期に把握して介護予防の効果的な取組につなげる。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	全世帯に郵送される総合健診申込書において、基本健診に申込のあった65歳以上の高齢者に対し、基本チェックリストを郵送し、健診受診時に持参してもらい、医師による基本チェックリスト該当項目や生活機能チェック・生活機能検査の結果から総合的に判断し、生活機能低下のおそれのある高齢者（特定高齢者）を把握し、介護予防の効果的な取組につなげる。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	基本チェックリスト実施者数　（5,277人） 特定高齢者の候補者数　（1,279人） 特定高齢者数　（1,150人）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	25		国庫支出金	地域支援事業交付金	8,914
	12	192		府支出金	地域支援事業交付金	16,490
	13	29,919		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		4,732
事業費合計		30,136		合計		30,136

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	特定高齢者把握のための生活機能評価が、社保対象者にも拡大し、対象者が増加した。
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	事業内容については、介護保険法に基づく地域支援事業として実施するものであり現状維持である。
事業規模の方向性				
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	事業規模については、現状維持であるが、基本健診に申込まない65歳以上の高齢者については、特定高齢者把握ができないため、把握経路の拡大や把握方法の改善が必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-22

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	01	01	02	
細事業名	通所型介護予防事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	4　介護予防の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	特定高齢者（要支援・要介護状態になるおそれのある虚弱な高齢者）を対象に、高齢者がいつまでも元気でいきいきとした生活を営めるよう、運動器の機能向上、口腔機能向上、栄養改善事業等を実施。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	要介護状態となる恐れの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の人（特定高齢者）で、介護予防ケアプランにて参加が立案された方を対象に、運動器の機能向上、栄養改善事業を実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	【介護予防プログラム】 ●運動器の機能向上・・・実施箇所数（5箇所）、実施回数（72回） 参加実人数（94人）、参加延人数（857人） ●栄養改善・・・実施箇所数（1箇所）実施回数（8回）、参加実人数（5人）、参加延人数（37人）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	7	462		国庫支出金	地域支援事業交付金	614
	8	533		府支出金	地域支援事業交付金	1,136
	11	97		起債		
	12	111		分担金・負担金		
	13	874		その他		
				一般財源		327
事業費合計		2,077		合計		2,077

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	事業の目標達成のためには、できるだけ多くの対象者が教室へ参加することが重要。特定高齢者把握のための生活機能評価が、社保対象者にも拡大したこと、事業の周知を個別通知することで、事業参加率が上昇した。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	市の高齢化率は益々増加している。今後も高齢者が自立した生活を営むため、事業内容の充実を図る必要がある。今後、現事業について参加率の向上を図ると共に、さらに口腔機能低下、認知、うつ等に対応した事業も必要。
事業規模の方向性			
A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	社保対象者の生活機能評価受診、事業参加者の増加。現在実施している運動機能向上事業の参加率向上のため、通年の事業実施も視野に入れながら外部委託を検討。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-23

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	01	02	01	
細事業名	介護予防普及啓発事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	4　介護予防の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	介護予防講演会の開催や高齢者が集う場所等での介護予防のための情報提供等を行い、介護予防知識の普及・啓発を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	65歳以上の高齢者等に対し、①いきいき運動倶楽部、②地域栄養改善活動講習会、③地域栄養改善活動　④一般介護予防普及啓発事業、⑤生活機能向上事業を実施し、介護予防知識の普及・啓発を図った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	介護予防教室・・・開催回数（110回）、参加延人数（1,455人） 相談会・・・開催回数（65回）、参加延人数（586人）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	7	299		国庫支出金	地域支援事業交付金	784
	8	567		府支出金	地域支援事業交付金	1,451
	11	697		起債		
	12	230		分担金・負担金		
	13	766		その他		
	14	32				
	27	60				
				一般財源		416
事業費合計		2,651		合計		2,651

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	運動機能低下を予防するための実践教室、低栄養予防のための講習会、その他介護予防のための講座を市内全域にわたり実施。地域からの出前講座の依頼も年々増加しており普及啓発活動として効果を上げている。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	高齢化が進み、ますます高齢者が健康で生きがいを持ち自立した生活を営むことが必要になっている。今後も地域を中心に各テーマで事業を実施していく。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	高齢化に対応するため、現在の事業規模を維持することが必要。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-24

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	介護保険特別会計	04	01	02	02	
細事業名	地域介護予防活動支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	担当課長の氏名
長寿福祉課	大久保　亨
	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	4　介護予防の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域で展開している高齢者サロンの立上げや継続に対して支援（健康相談、健康教育等）	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				介護予防の推進及び自立生活支援向上

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	65歳以上のサロン対象者とその担い手に対して、介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような社会構築を目指して、健康教育、健康相談等を実施し、介護予防に資する活動の育成・支援を行なった。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	ボランティア育成の為の研修会・・・開催回数（38回）、参加延人数（612人） 地域活動組織への支援・協力等・・・開催回数（86回）

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	138		国庫支出金	地域支援事業交付金	89
	11	128		府支出金	地域支援事業交付金	166
	13	36		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		47
事業費合計		302		合計		302

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	高齢者の自立した生活を支援するために高齢者サロンは必要。高齢者サロンの運営が困難な地域を支援しながら、地域での介護予防の知識を普及。全市的に高齢者サロンは拡大充実してきている。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	必要性や妥当性の高い事業であり、適正なコストと判断できる。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	高齢化が進み、ますます高齢者が健康で生きがいを持ち自立した生活を営むことが必要になっている。今後も地域活動が維持できるよう支援していく。
	事業規模の方向性			
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	サロンの担い手も高齢化してきており、また、任期が終了すると交代するため、今後も現在の事業規模を維持することが必要。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	11	01
細事業名	介護サービス利用負担軽減事業					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	奥田　誠

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	5　介護保険制度の充実
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	低所得者が介護サービスを利用することで生計維持が困難となる場合、サービス利用料に対して一部助成をすることにより、利用者負担の軽減を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	低所得者で生計の維持が困難である者が介護保険サービスを利用した時の利用者負担額を、社会福祉法人等が軽減を行った場合に、社会福祉法人等に対して、国の規準により、市がその一部を助成する。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市が助成し、法人等による利用者負担の軽減制度の円滑な実施を支援することにより、低所得者の介護保険サービスの利用を図った。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	14,153		国庫支出金		
				府支出金	介護保険事業費補助	10,614
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		3,539
事業費合計		14,153	合計			14,153

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	必要に応じ交付するものであるため、具体的効果、数値効果を測ることは難しいが、目的達成に向けて順調に進捗している。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	国、府、市の要綱等に基づき交付する助成金であり、コスト削減の余地はない。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	低所得者が、必要な介護保険サービスを利用できるよう、今後も事業を維持する。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	国、府、市の要綱等に基づき、事業を継続する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	12	01
細事業名	老人福祉施設建設資金借入金償還補助金					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	小谷　美保子

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	5　介護保険制度の充実
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	高齢者を地域で支えあうため、高齢者福祉の拠点となる社会福祉法人が社会福祉施設を整備するために要する資金の融資を受けた場合の償還利子に対し、予算の範囲内で利子補給金を交付する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	社会福祉法第58条第1項の規定に基づき、社会福祉法人が社会福祉施設を整備するために要する資金の融資を受けた場合の償還利子に対し、予算の範囲内で利子補給金を交付する。《平成21年度：10施設　計50,853,730円》
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	50,854		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		50,854
事業費合計		50,854	合計			50,854

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	今後も高齢者の増加を地域社会で支えあうためには、この事業を維持継続していくことにより超高齢者社会に対応できるものであると考える。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	高齢者比率の伸展を地域社会で支えあい、高齢者及び家族が安心して暮らせる社会を実現していくためには必要不可欠な事業であり、社会福祉法人に対する側面的な支援が今後も必要なため、妥当なコストであると考えられる。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	高齢者比率の伸展を地域社会で支えあうためには、社会福祉法人の施設整備に対する側面的な支援が今後も必要不可欠であり、維持継続する必要がある。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	超高齢化時代に突入しつつある今日、高齢者及び家族が安心して暮らせる施設サービスの必要性は非常に高いので、維持継続する必要がある。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	12	02
細事業名	地域介護・福祉空間整備推進補助金					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	野田　昭男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	5　介護保険制度の充実
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	介護保険事業計画において、市内を6つの「日常生活圏域」に区切り、この圏域ごとに必要とされる介護サービス量（介護事業者の数）を見込むとともに、計画で定めた必要量に達していない圏域には、事業所を開設する際の工事費の一部について、国からの交付金を市の補助金として法人へ交付することで、積極的な整備を促すも
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域密着型サービス施設改修事業：グループホーム2施設に対してスプリンクラーを設置　4，593千円　　小規模多機能型居宅介護拠点整備事業：さかいの家開設に係る備品購入　3，000千円 地域密着型サービス施設整備事業（繰越分）：特養満寿園デイサービスセンター　10，000千円 ※スプリンクラー等整備事業は、平成23年度までの時限措置。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	公的介護施設等の整備計画に基づく施設及び設備等の整備事業であり、平成21年度4法人4施設についてスプリンクラー、初度開設費等に係る整備を実施した。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	17,593		国庫支出金	地域介護・福祉空間整	17,593
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		0
事業費合計		17,593	合計			17,593

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	身近な生活圏域に様々な介護サービスが存在し、それらが連携する「面の整備」を行うことにより、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるような介護・福祉基盤の整備が図ることができた。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	国・市の補助金要綱に基づき実施している事業であり、施設の工事費の一部を補助するものであるため、補助限度額を超えた費用は事業者の負担となる。 事業の国庫補助率は100/100である。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	日常生活圏域ごとに計画で定められている介護保険事業所数が確保され、その結果、必要な介護サービスが提供されるものであることから、事業として継続すべきである。
	事業規模の方向性			
	C	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	「日常生活圏域」ごとに、計画で定めている介護事業所数が確保され、必要な介護サービスが提供される。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	12	03
細事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	野田　昭男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	5　介護保険制度の充実
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するため、住み慣れた地域で家庭的なサービスが利用できる施設整備に対して助成を行った。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域密着型サービス施設整備事業補助金（小規模多機能型施設　さかいの家新設）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	26,250		国庫支出金		
				府支出金	介護基盤緊急整備特	26,250
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		0
事業費合計		26,250	合計			26,250

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	身近な生活圏域に様々な介護サービスが存在し、それらが連携する「面の整備」を行うことにより、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるような介護・福祉基盤の整備が図ることができた。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	府・市の補助金要綱に基づき実施している事業であり、施設の工事費の一部を補助するものであるため、補助限度額を超えた費用は事業者の負担となる。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	日常生活圏域ごとに計画で定められている介護保険事業所数が確保され、その結果、必要な介護サービスが提供されるものであることから、事業として継続すべきである。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	「日常生活圏域」ごとに、計画で定めている介護事業所数が確保され、必要な介護サービスが提供される。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
17-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	03	14	01
細事業名	介護保険事業特別会計繰出金					

担当部局	担当課長の氏名
健康長寿福祉部	
担当課等	大久保　亨
長寿福祉課	担当者の氏名
	由良　茂樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅲ　健やか安心都市
	計画項目　（施策）	⑥　安心して暮らせる高齢者福祉の充実
	施策方針	5　介護保険制度の充実
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	介護保険制度における介護給付に要する費用の定率負担、並びに制度実施にかかる諸経費相当分を介護保険事業特別会計に繰り出し、介護保険の円滑な推進を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	介護給付費の12.5%、介護認定審査会、認定調査に係る経費、一般事務費等を介護保険事業特別会計に繰り出す。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	28	728,434	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		728,434
事業費合計		728,434	合計		728,434

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている）	理由	介護給付費は、法定負担率による定率負担。介護認定審査会は、円滑な要介護認定事務を行うため複数班を設置、認定調査等の費用は、公正中立な認定事務を行うために臨時職員を調査員として採用し、市直営で調査を実施している。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	介護保険法に規定されていて必要な繰出しであり削減は困難である。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	介護保険法に規定されていて必要な繰出しであるが、今後は財政計画のなかで、負担額の推移についても注視していく。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

B	A　事業拡大	理由	介護保険法に規定されていて必要な繰出しであるが、今後は財政計画のなかで、負担額の推移についても注視していく。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		